

# 口座振替データ合算システム

Ver-01.00.002

和幸システム株式会社

## はじめに

口座振替データ合算システム（以下、本システムと略す）は、複数の全銀の口座振替データ（固定長120バイト）を合算し、金融機関に提出する口座振替用のデータを再作成するシステムです。  
有料オプションの機能で、口座振替データを顧客番号を利用し分割することも可能です。

## 起動と終了

起動は、プログラムメニューから、口座振替データ合算システムして下さい。

終了は、メイン画面の終了ボタンをクリックして下さい。

## ライセンスの登録

本システムは、ライセンス登録を行わないと、一定期間経過後は、使用できなくなります。

次の画面が表示されたら、オンライン申請をクリックして下さい。

試用する場合は、あとで登録をクリックして業務を開始して下さい。

ライセンスを登録する場合は、ライセンス登録欄に指定の内容を入力後、ライセンス登録をクリックして下さい。

オンライン申請の画面です。インターネット経由で登録画面が表示されますので、必要事項を記入して、送信ボタンをクリックして下さい。

ライセンス登録のご案内メールをお送りしますので、その内容に従って下さい。

## 口座振替データ合算 ユーザー申請

下記のフォームに入力後、送信ボタンをクリックして申請下さい。購入方法のメールお送り致します。  
ご入金確認後、購入パスワードを送付致します。  
個人情報に関しては、当社内で厳重管理し、第三者に公表することはありません。

尚、フリーメールのアドレスでの申請は、お断りしております。

必要項目を入力し、送信ボタンを押して下さい（※の部分は必須項目）

ユーザー情報 ※	HF9B2E18ABD100FH	(このまま変更しないで下さい)
ふりがな ※ 全角ひらがなで指定		
ご担当者氏名(漢字)※		
E-Mailアドレス ※ 全て半角で指定		
医療機関名※		
所属		

## メイン画面

本システムのメイン画面です。終了ボタンをクリックすると業務を終了します。

※有料オプションが有効の場合のみ、分割ボタンが表示されます。

口座振替データ合算 (全銀120バイト固定長) - 試用中

ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)

参照ファイル  
全銀ファイル  参照(B)  ハッタ取得  データクリア 読込(G) 終了(X)

ファイル情報  
データ区分: 21 委託者: 1234567890 ワコシステム 銀行: 0182 支店: 101  
引落日:  口座: 普通 7654321 初期値

データ

区分	銀行コード	銀行名	支店コード	支店名	口座種別	口座番号	口座名義人	引落額計	新規	顧客
----	-------	-----	-------	-----	------	------	-------	------	----	----

作成(C)  
分割(B)  
CSV出力(O)

## 導入時の設定

導入に際して、設定を行う必要があります。メイン画面のツールメニューから実行します。

オプション

登録情報

委託者コード 1234567890 保存(S)

委託者名 ワコシステム キャンセル

銀行コード 0182 支店コード 101

預金種別 1-普通預金 預金番号 7654321

ファイル名 zengin2.txt

データ名 ZENGIN

種別番号 21

保存場所 D:\source\_backup\wakosystem\VS\_2008Source\ZenginAdd\Ze 参照(2)

- 委託者コード 金融機関から指定された番号 10 桁を指定します。
- 委託者名 半角カナで指定します。小文字は、自動的に大文字に変更します。
- 銀行コード 銀行コードを指定します。参照をクリックすると銀行マスタの検索が可能です。

支店コード	銀行コードと一緒に、現行マスタの検索から転記が可能です。
預金種別	普通預金か定期預金かを選択します。
預金番号	預金口座の番号を 7 桁で指定します。7 桁未満の場合は、前に 0 を付加します。
ファイル名	金融機関から指定されたファイルの名前を指定します。
データ名	金融機関からデータ名の指定があった場合に指定します。
種別番号	金融機関から指定された番号（サービス番号等）を指定します。
保存場所	作成したファイルを保存する場所を指定します。参照でフォルダーを選択することも可能です。

### 分割情報の設定

有料オプションが有効の場合、分割に関する情報を設定します。ツールメニューの分割設定です。分割には、顧客番号の 20 桁の一部を使用します。

番号・名称・開始と長さを設定します。

画面の設定例では、顧客番号の 9 文字目から 3 桁が 001 の場合は日本橋店のデータになります。開始は、0 スタートですので、文字数の位置から 1 を引いて下さい。

設定が完了したら、保存ボタンをクリックします。

分割オプション

分割データ

番号	名称
001	日本橋店
002	渋谷店

開始(0スタート)

長さ

保存(S)

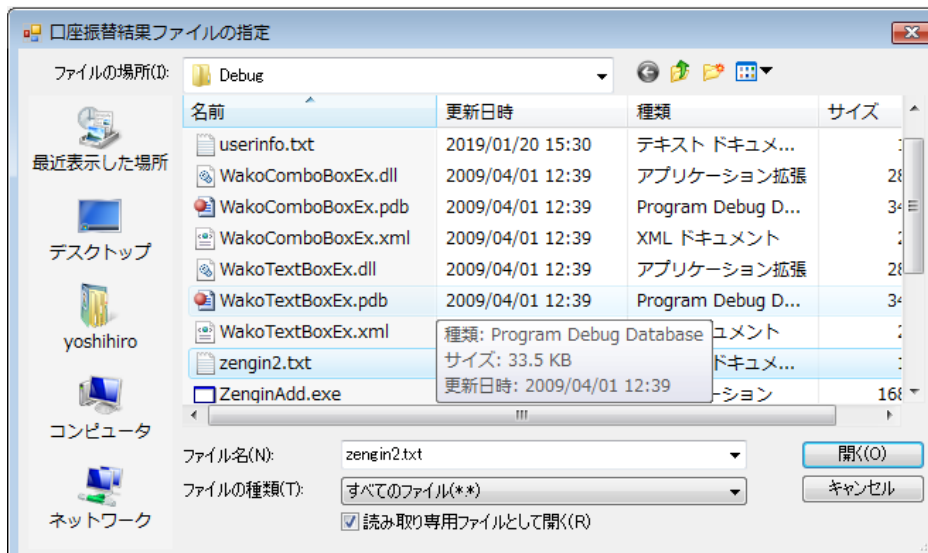
キャンセル

## 複数のファイルを合算する方法

メイン画面で各拠点のデータを取得し合算していきます。



参照ボタンをクリックすると、ファイル参照指定の画面が表示されますので、ファイルを選択します。



読み込みボタンをクリックするとデータを取得します。

ヘッダ取得にチェックがあれば、データを取得し画面に表示させます。

データクリアにチェックがあれば、表示されているデータを削除後にデータを表示します。

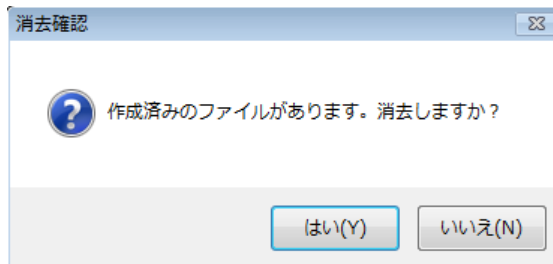
この2つの項目は、初回のみチェックされ、2つめ以降は、チェック無し状態で実行されます。

初期値ボタンをクリックすると、委託者情報を登録されている情報に変更することが可能です。

## 口座振替データの作成

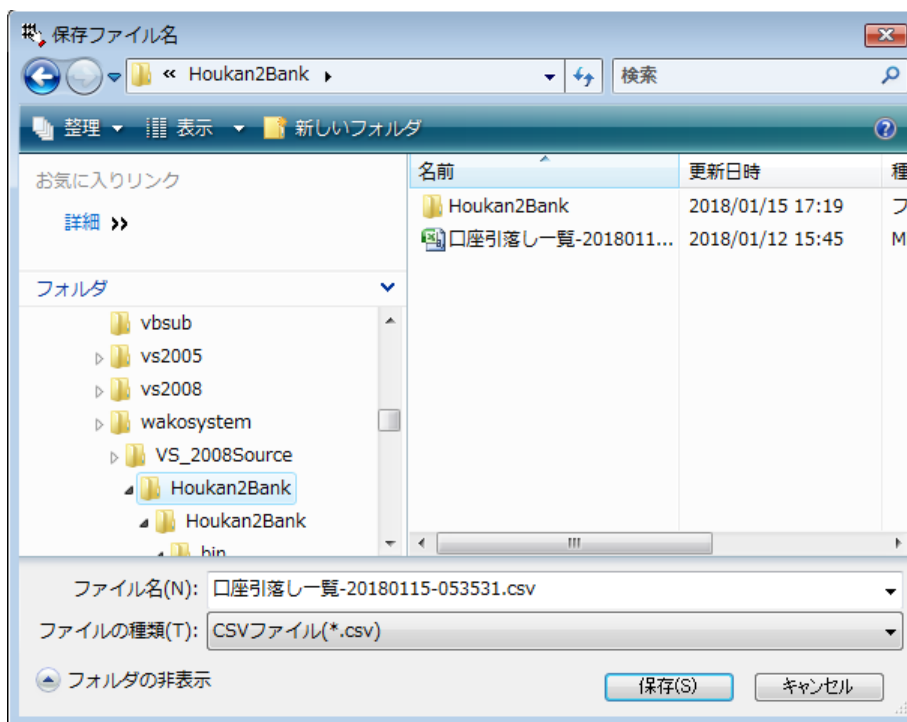
作成ボタンをクリックすると、表示されているデータをもとに、口座振替データを作成します。

作成の際に、同一のファイルの確認を行い、ファイルがある場合は、上書きの確認画面が表示されます。はいをクリックすると、現在のファイルを削除し、作成します。いいえの場合は処理を中止します。



## CSV 出力

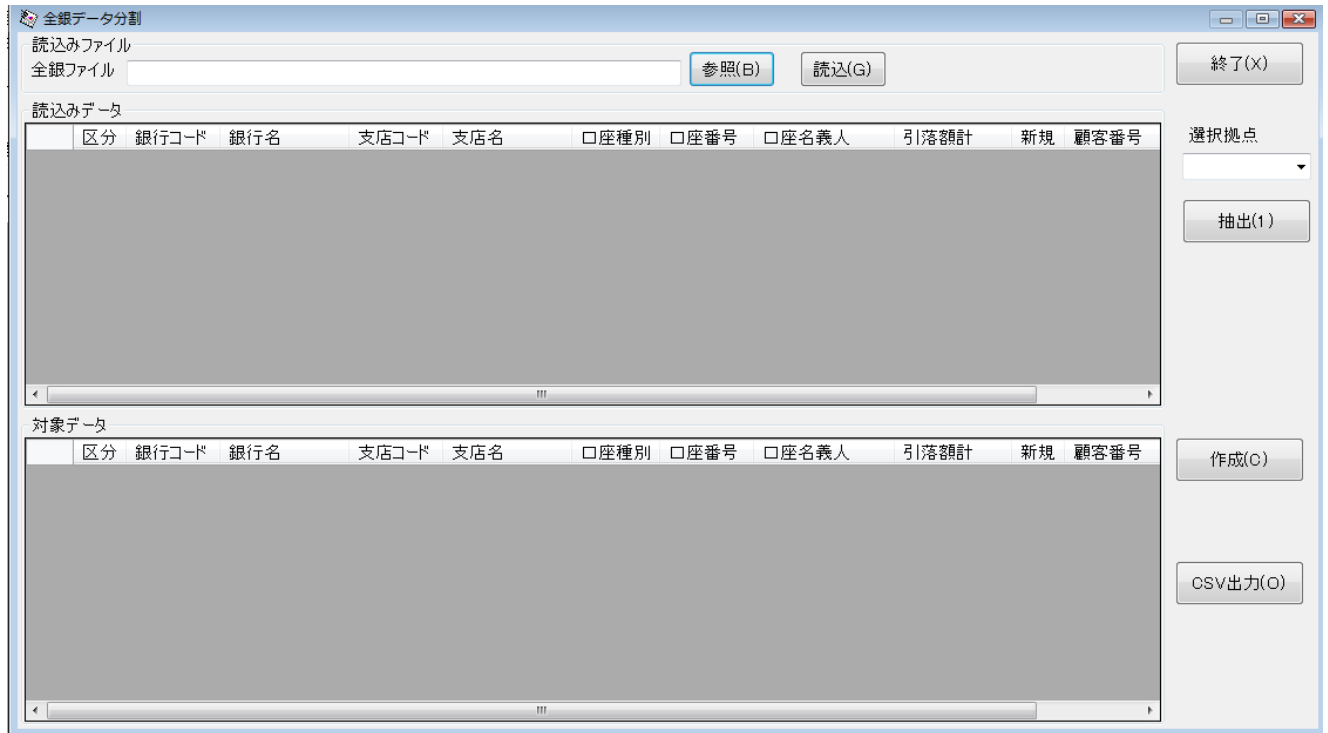
CSV 出力をクリックすると、表示されているデータを CSV 形式で保存することが可能です。保存ファイル名の指定画面が表示されますので、指定して下さい。



## 口座データの分割

※本機能は、有償オプションで、通常は実行できません。

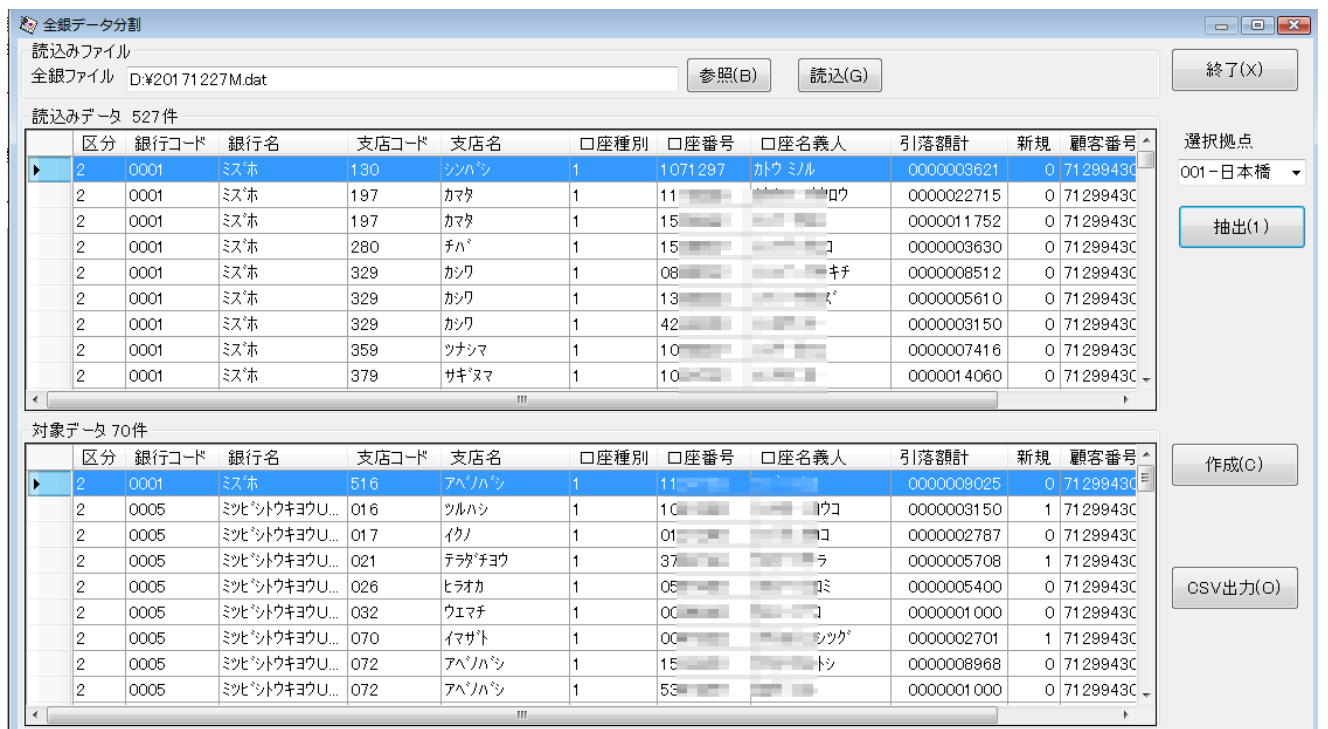
全銀口座振替用データ固定長 120 バイトのデータを、顧客番号を利用して設定に従って分割します。メイン画面の分割ボタンをクリックします。次の画面が表示されます。



分割したいファイルを参照ボタンで指定し、読み込みます。

分割したい拠点を選択拠点で指定し、抽出をクリックします。

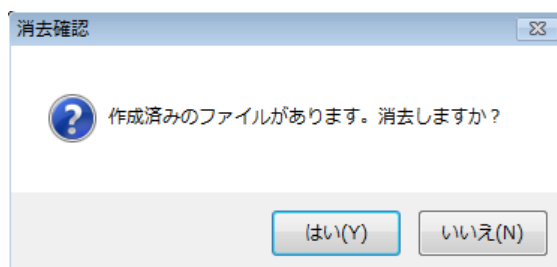
下のグリッドに対象データが表示されます。データを確認し、作成ボタンをクリックすると、分割した口座振替データが、指定したフォルダーに、拠点名のファイル名で作成されます。



CSV 出力をクリックすると、対象データのみ EXCEL で使用できる形式でファイル出力可能です。

分割したデータの作成の際に、同一のファイルの確認を行い、ファイルがある場合は、上書きの確認画面が表示されます。

はいをクリックすると、現在のファイルを削除し、作成します。いいえの場合は処理を中止します。



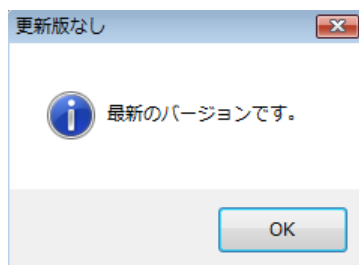
## エラーに関して

本システムは、十分なテストのもとに出荷しておりますが、想定しないケースでエラーが発生することもあります。万一エラーが発生した場合は、そのエラーメッセージや行っていた操作等を記録して、お問い合わせ下さい。内容をお聞きし、対応を行います。

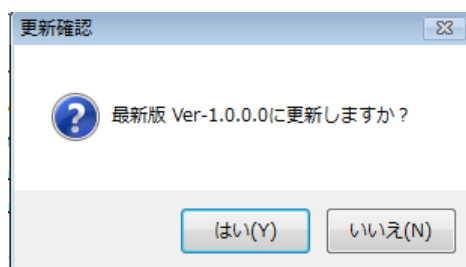
## 最新バージョンの提供

最新のバージョンを確認する場合は、ヘルプメニューのバージョンアップ確認をクリックします。

最新のバージョンが提供されていない場合は、次の表示があります。



最新のバージョンが提供されている場合は、更新確認の画面が表示されますので、必要時は、はいをクリックします。



## その他

機能の追加等に関しては、随時受け付けております。内容によって、別途有料で対応の場合もありますが、検討して対応をご連絡します。